



# ならエコファーマー通信

奈良県エコファーマー連絡会

第5号

## 奈良県エコファーマー連絡会 第3回通常総会を開催



奈良県エコファーマー連絡会総会

平成21年10月27日(火)、橿原市の農業交流館にて、奈良県エコファーマー連絡会第3回通常総会を開催しました。

平成20年度の事業報告後、平成21年度の事業計画について協議を行い、下記の事業が承認されました。役員改選では、旧役員が再任されるとともに、畠中正美さん(桜井市)が新たに就任されました。

### 奈良県エコファーマー連絡会 役員

会長 (有)類農園 丸一 浩  
副会長 辰巳 昭清、正岡 常雄  
幹事 大西 衛、菊井 新昭、梨子本 亘希、  
畠中 正美、福谷 亀義

### 平成21年度事業計画

(平成21年10月～平成22年9月)

#### ■総会・役員会の開催

#### ■環境保全型農業技術の研修、情報提供

- (1) 環境保全型農業技術研修会の開催 (10/27、2月)
- (2) エコファーマー技術交流会の開催 (10/27)
- (3) ならエコファーマー通信の発行 (2回)

#### ■エコファーマーの取組、農産物のPR

- (1) エコファーマー活動PRパネルの作成と貸出
- (2) 奈良まほろば市におけるPR (10/31～11/1)
- (3) 消費者交流会(エコファーマー体験ツアー)の開催

総会終了後、環境保全型農業推進講演会を開催、明治大学 藤原 俊六郎客員教授より、「たい肥の特性を理解した土づくりと施肥低減法」と題して講演いただき、たい肥の特性や土壤改良効果、たい肥に含まれる肥料成分を考慮した作物別施用方法等について学びました。



環境保全型農業推進講演会 講師:藤原俊六郎先生(右上)

また、農業総合センターの普及指導員・研究員をアドバイザーにむかえ、エコファーマー技術交流会を行い、「野菜」、「作物」、「果樹」の3分科会に分かれて環境保全型農業の技術的な課題について情報交換を行いました。



[野菜分科会]  
主なテーマ  
・連作障害と輪作  
・たい肥施用と施肥設計  
・IPMについて 等



[水稻分科会]  
主なテーマ  
・土づくりと鳥獣害対策  
・米の品質向上 等



[果樹分科会]  
主なテーマ  
・たい肥の施用と土壤診断  
・エコファーマーPR 等

## 消費者交流会「エコファーマー体験ツアー」を開催しました

平成21年7月25日(土)、8月29日(土)、宇陀市および斑鳩町で、消費者交流会を開催しました。夏休み中の開催ということもあり、親子連れを中心とした参加者で賑わいました。

### 7月25日(土) in 宇陀市

訪問先:正岡常雄さん・(有)類農園 参加者:消費者22名・エコファーマー6名



昔ながらの水稻の  
草取り器を紹介

(有)類農園見学  
土づくりの  
こだわりを説明



トマトの収穫体験



甘とうがらしの  
収穫体験  
農園でガブリ!  
甘くてビックリ!



スイカ・トマトの  
試食も

### 8月29日(土) in 斑鳩町

訪問先:辰巳昭清さん 参加者:消費者23名・エコファーマー5名



害虫を  
寄せつけない  
黄色灯の説明



栽培品種の多さに  
参加者から感心の声が

参加エコファーマー  
の自己紹介



梨の  
収穫体験



だっこして  
自分で収穫

今回は、2回で合計213名と  
たくさんの参加申込みをいた  
きました。

今後も、各地域での開催を計  
画していますので、消費者交流  
会の開催に協力いただける方  
は、事務局までご連絡ください。

### 参加者の声 (アンケートから)

- 農家がどんな仕事をしているか分からなかったので良い勉強になった。これからもエコファーマーとして頑張っていただきたい。
- 多くの農家の方が頑張っていらっしゃるのに、スーパーの商  
品は県外産のものが多いです。もっともっと県内産の農産物  
が流通しますように。
- お店でエコファーマーマークを探そうと思います。

## 農産物販売・エコファーマークイズでPR ~奈良まほろば市~

平成21年10月31日(土)～11月1日(日)、橿原市の橿原公苑で「奈良まほろば市」が開催され、約52,000人の来場者で賑わいました。エコファーマーの取組をPRするため、県エコファーマー連絡会より出展を行いました。

1日目は、出品希望いただいたエコファーマー4名により、エコファーマー農産物(みずな、リーフレタス、黒豆、柿、茶等)の販売を行い、会員自らPRに努めました。2日目は、パネル展示とエコファーマークイズを実施、楽しみながらエコファーマーに親しんでいただきました。



1日目(10/31)  
エコファーマー農産物販売



2日目(11/1)  
パネル展・  
エコファーマークイズ



### 消費者向けエコファーマークイズ

Q1 エコファーマーマークは次のうちどれでしょう?

- イ ロ ハ

Q2 奈良県にエコファーマーは約何人いるでしょう?  
イ 6人 ロ 60人 ハ 600人

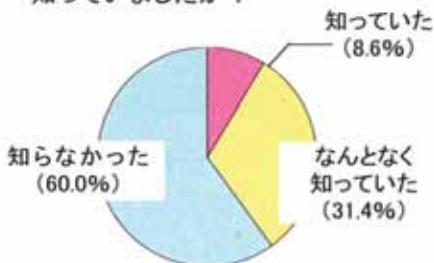
Q3 奈良県エコファーマー連絡会がPRのためにやっていることは何でしょう?

- イ エコファーマー運動会  
ロ エコファーマーフェスティバル  
ハ エコファーマー体験ツアー

**※答えはすべてハ、正解率70.5%**

### クイズ参加者へのアンケート

○これまでエコファーマーを知っていましたか?



## 奈良県持続的農業導入指針の改正について

平成21年6月30日および11月17日付けで、エコファーマーの取組に関する県の指針である「奈良県持続的農業導入指針」を改正しました。

改正点は、県たい肥施用基準の改正に伴う「有機質資材施用技術の目標のめやす」の見直しと「キウイフルーツ」の新規追加です。

改正後の指針の内容は、奈良県のホームページをご覧いただか、県農業水産振興課又は各農林振興事務所におたずねください。キウイフルーツについて、新たに追加認定を希望される場合は各農林振興事務所にご相談下さい。

### 有機質資材施用技術の目標のめやすの改正 (平成21年6月30日付)

#### [改正前]

各作物ごとに設定  
(例) 水稲 0.5~2t/10a  
いちご 1~2t/10a

#### [改正後]

たい肥施用基準を踏まえ適切に施用



※H21.6.30以降の申請に適用されます

#### (参考) 県たい肥施用基準

##### [畠地の場合]

土壤腐植含有量 <3% → 3t/10a・年  
≥3% → 2t/10a・年

##### [水田の場合]

土壤腐植含有量 <3% → 750kg/10a・年  
≥3% → 500kg/10a・年

## 地域でがんばる！ エコファーマー

辰巳 昭清さん (斑鳩町・認定番号 31(2)号)

認定作物：梨、ぶどう、桃



エコファーマー体験ツアーで訪問させていただいた辰巳さんを紹介します。

辰巳さんは、明治時代からの梨の産地、斑鳩町稻葉車瀬で梨を中心とした果樹の栽培をされています。梨園が住宅地に隣接し、近くには幼稚園や小学校もあるため、環境にやさしい農業に先進的に取り組まれてきました。

栽培面では、たい肥による土づくりを基本に、有機質肥料主体の施肥を行い、性フェロモン剤や黄色灯により害虫の発生を抑制して化学合成農薬の低減に努めながら、大玉で高品質な梨づくりを目指しておられます。

このような環境保全型農業の取組は地域に広がっており、農地・水・環境保全向上対策の営農活動支援にも地域ぐるみで取り組み、

辰巳さんは活動組織の代表としても活躍されています。また、地域の遊休農地でそばを栽培し消費者交流を行う、新たな取組もはじめられています。



子どもたちに梨づくりについて語る辰巳さん

## 全国エコファーマーネットワーク結成へ　～会員募集中～

平成21年9月4日、「全国エコファーマーネットワーク化推進準備委員会」が発足、エコファーマーが連携して技術力・経営力の向上を図り活動の輪を広げるため、全国的なネットワーク化の検討が進められています。準備委員会には、近畿地区を代表して丸一会長が委員として参画されています。

去る11月5日～6日、宮城県大崎市においてエコファーマー全国交流会が開催され、約40名が参加し、先進事例報告とともにネットワーク化について意見交換されました。

来年秋の正式な組織設立に先立ち、現在会員を募集中です。入会を希望される方、全国エコファーマーネットワークに興味のある方は、

全国エコファーマーネットワークのホームページ(<http://www.eco-farmer.net/>)をご覧いただけます。県農業水産振興課までおたずね下さい。



先進事例報告を行う  
丸一 浩 会長



全国エコファーマーネットワーク化推進準備委員会  
佐々木陽悦会長より  
活動方針の説明



活動紹介「地域でがんばる！エコファーマー」コーナーへの掲載のご希望、ご意見や記事の投稿をお待ちしています。第6号は平成22年3月発行予定です。

寒さが厳しい季節となりましたが、お体に気をつけて農作業におつとめ下さい。

**発行 奈良県エコファーマ連絡会**

(事務局 奈良県農業水産振興課環境係)

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30 TEL0742-27-7442 FAX0742-22-9521

平成21年12月発行